



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／小野 仁
- 副会長／宮坂宥澄・佐藤有司
- 幹事／山岸邦太郎
- 会報・雑誌・広報委員長／林 尚孝

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:okayarc@amber.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2564 回例会 2012 年（平成 24 年）4 月 10 日（火）

点 鐘：小野 仁 司 会：高木昭好
斉 唱：手に手つないで ラッキーNo.：No. 31 白鳥修次
結 婚 祝：平沢清文・矢島 實・牛山幸一・山崎典夫・太田博久
委 嘱 状：米山奨学生カウンセラー

会長挨拶

一昨日の地区協議会、ご苦労様でした。ロータリー全体が一気に次年度モードに入った気がします。

今年度の当クラブの期末はエレクト事務所の開設と重なり通常以上の多くの業務が予想されます。ガバナー訪問は遅いとはいえ、エレクト輩出クラブとしては対面上計画書と報告書の提出をあまり遅くするわけにはいきません。当面事務局は一人体制です。改装工事が終わったらクラブ事務所の移転、機器備品の設置等を行わなければなりません。新旧引継ぎ会が終わったら、山岸幹事と北村次期幹事に決算と予算を含めて出来るだけ早くクラブの方の完了をお願いしたいと思います。

会長報告

・後ほど臨時総会を開きます。それに先立って理事会が行われましたのでご報告をいたします。一昨日 4/8 に行われました地区協議会にて、次年度の地区協議会のホストクラブとして岡谷ロータリークラブが受諾を致しました。本来ならば理事会、総会を経由してやるべきところを私の手落ちで、皆様方には申し訳ない事を致しました。先程の理事会では承認されましたが、後ほどの臨時総会にて詳しくお話をさせていただきます。

幹事報告

・年間予定では 5/22 は夜間例会と親睦ゴルフコンペでしたが、5/19(土)が富岡 RC との友好クラブ調印式、翌 20 日は親睦ゴルフコンペに変更となりましたので、19 日を例会扱いとします。従いまして 22 日の例会は振替休会とします。

総 会

小野 仁会長

次年度当クラブが、平成 25 年 4 月 7 日に行われる地区協議会のホストクラブに決定いたしました。理事会・総会を経て受諾すべきでしたが、手順が逆になったことを会員の皆様にお詫びいたします。

承認されました。

従いまして次年度早々に実行委員会を立ち上げて準備が始まります。皆様の絶大なご協力をお願いいたします。

宮坂宥洪ガバナーノミニ

小野会長より提案のありました、次年度地区協議会ホストクラブ受諾の件、ご承認いただきありがとうございます。

先般 4/8 に地区協議会が開催され、多くの皆様にご参加いただきました。

地区協議会はガバナーエレクト事務所が主催します。恒例としてホストクラブを設けて開催していましたが、この 2 年は松本大学をお借りして開催しております。松本周辺クラブと業者が段取りをして下さっていますが、これは、小さなクラブでも、どこのクラブでも受けられるようにして行こうという考えの下に、近年このようになってきています。

来年は 4/7(日)に決まっております。ガバナーエレクト事務所が主催する行事になっておりますので、皆様方にはご協力をお願いする事になります。であれば、ホストクラブもガバナーエレクト輩出クラブで受けていただいた方が都合が良いという地区の意向がありました。そんな中で、皆さま方のご承諾を得ないまま、受けてしまいました事を申し訳なく思います。

このような経過をご理解いただき、次年度の地区協議会の開催へのご協力をお願い申し上げます。よろしく申し上げます。

宮坂 伸会長エレクト

ガバナー事務局と連携をもって、どんな状況でも協力をして行かなければならないのが大前提であります。皆様方にはお力添えを頂きながら、岡谷ロータリークラブで開催をして行こうと思っております。よろしく申し上げます。

その際には実行委員会を立ち上げて、皆様方のご意見をいただきながら、スムーズに進めて、ガバナー事務局の後押しをして行きたいと思っております。よろしくご協力をお願いいたします。



卓話「新病院について」

岡谷市新病院建設室
室長 山岡 泰一郎 様



完成予想パース(北東面パース)
+今後、実施設計を進めると、変更になる可能性があります。

自衛パース

スケジュール

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
【設計・手続】					
基本設計	■				
実施設計		■			
免責評定		■			
確認申請		■			
工事入札			■		
【工事関係】					
博物館・旧婦人の家解体		■			
新病院本体工事			■ 約22ヶ月		
本体外構工事				■	
開設準備・引越				■	● 開院
既存病院解体					■
駐車場整備					■

事業費及び財源

新病院建設事業の事業費及び財源は、現時点では下記の通りとし、今後、これを上限と位置付け、できる限り費用圧縮に努めることを基本的な考え方とします。
(物価変動、税制改正等やむを得ない影響が生じた場合は、この限りではありません)

【事業費】

項目	金額(千円)
基本設計	52,500
実施設計	140,000
工事監理	70,000
工事(本体)	6,300,000
敷地整備	660,000
医療機器	1,000,000
繰上償還	563,000
病院移転	80,000
事務人件費	110,000
事業費計	8,976,500

【財源】

項目	金額(千円)	割合
企業業績	7,096,000	79.1%
長野県地域医療再生事業補助金	1,120,000	12.5%
病院事業会計	324,250	3.6%
一般会計	324,250	3.6%
その他	110,000	1.2%
財源計	8,976,500	100.0%

ユニバーサルデザイン

患者及び患者のご家族、また病院に来院される多くの方が、「分かりやすく、快適に使用できること」を基本的な考え方とし、バリアフリーはもちろん、快適性や安全性の追求し、医療事故や院内感染の防止、基本理念に掲げる「思いやり」の実現が図れる計画とします。

地球環境への配慮

太陽光、地中熱、雨水、井戸水など自然エネルギーを効率的に利用し、ランニングコストの低減を図るとともに、環境にやさしい建物とします。

災害対策

大規模な地震、集中豪雨などによる自然災害の発生に対し、病院の機能を維持しエネルギー供給を継続できるよう、免震構造、透水性アスファルト舗装、雨水貯留槽などを採用します。また、災害時エネルギー供給ができるよう、無停電装置、非常発電設備による停電対応、給水機能の確保、非常用医療ガスの設置などの対策を行います。

東西方向断面図



- ・地階を設けることで地上部の高さを抑え、近隣への日影やビル風、圧迫感による影響を軽減する。
- ・地下12m程度に支持地盤があり、免震層を含めた地階を設け、基礎底が支持地盤に直接載る形式とし、杭工事を省略する。
- ・中央のエコポイドは、居室への採光、自然換気用の煙突としての機能を果たす。

断面図

回復期リハビリ病棟は機能訓練ホールや食堂など広いスペースを確保

西側	回復期リハビリ病棟	4.5F
	4人室	8室
	2人室	3室
	1人室	3室
東側	一般病棟	5.5F
	4人室	8室
	2人室	5室
	1人室	1室



エレベータ凡例
■ 一般用エレベータ ■ 救急用エレベータ
■ 寝台用エレベータ ■ 外来用エレベータ (スタッフ用)

5階

- ・<病棟階共通事項>
- ・看護のしやすさを重視し、スタッステーションを病室群の中央に配置
- ・看護単位の区分が自由に行える、「コの字型」に連続する病床配置計画
- ・エレベータをスタッフと患者の動線を明確に分けて配置

西側	産科/内科-一般病棟	4分棟
	4人室	7室
	2人室	5室
	1人室	11室
	リハビリ室	2室
東側	一般病棟	5分棟
	4人室	8室
	2人室	4室
	1人室	12室
	病室数	4室



エレベータ凡例
 ① 一般用エレベータ
 ② 救急用エレベータ
 ③ 複合用エレベータ (スタッフ用)
 ④ 外来用エレベータ

4階

- ・①手術室を5室、心臓カテーテル室を1室、結石破砕室を1室配置し、②ICU・CCUに隣接し配置
- ・④病理検査と中央材料室を①手術部門に隣接して配置
- ・⑦事務部門の大会議室は必要に応じて分割して使用できる構造
- ・⑧医局は大部屋制としフレキシビリティに配慮



エレベータ凡例
 ① 一般用エレベータ
 ② 救急用エレベータ
 ③ 複合用エレベータ (スタッフ用)
 ④ 外来用エレベータ

3階

- ・①外来を1階と同じ位置に配置し分かりやすさに配慮し、②地域医療連携部門を利用しやすいようエントランスロビー吹抜けに面して配置
- ・③健診センターは専用の玄関を設置し、患者動線との交差が少なくなるよう計画
- ・④血液透析室は30床とし、⑤リハビリ室は回復期リハビリ病棟に併せ設備内容を充実。
- ・⑥外来化学療法室は10床を計画



エレベータ凡例
 ① 一般用エレベータ
 ② 救急用エレベータ
 ③ 複合用エレベータ (スタッフ用)
 ④ 外来用エレベータ

2階

- ・コンパクトで分かりやすい平面計画
- ・エントランスロビーを吹抜空間とし、①医事課②薬局の投薬窓口③外来の配置が一目でわかる構成
- ・④外来は待ち人数の調整がしやすい落ち着いた環境のコの字型レイアウト(1、2階共通)
- ・⑧救急④外来に近接して⑤生理検査⑦放射線科を配置
- ・③食堂・売店を併設し、食堂の営業時間外でも利用が可能



エレベータ凡例
 ① 一般用エレベータ
 ② 救急用エレベータ
 ③ 複合用エレベータ (スタッフ用)
 ④ 外来用エレベータ

1階

- ・地階を設け、1階、2階を外来診療に特化
- ・1階に収められない①薬剤③検査④放射線を上下階の連絡をとり効率的に配置
- ・⑥エネルギーセンターを免震構造の地階に設け、地震災害時等の緊急時にエネルギー供給に支障がない計画
- ・ご遺体の搬送とその他の性格の異なる搬送ルートを明確に分け、効率的な運営を計画



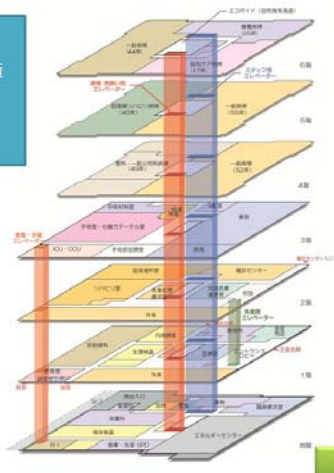
エレベータ凡例
 ① 一般用エレベータ
 ② 救急用エレベータ
 ③ 複合用エレベータ (スタッフ用)
 ④ 外来用エレベータ

地下1階

- 建築概要
- ・敷地面積: 約28,500㎡
- ・構造規模: 鉄筋コンクリート造 地上6階地下1階 免震構造
- ・最高高さ: 31.6m
- ・延床面積: 22,424㎡

- 診療科
- 現在の診療科に加え新たに入院患者向けの歯科を設置

- 病棟・病床数
- 一般病床: 200床 (感染症4床含む)
- 回復期リハビリ病棟: 45床
- 緩和ケア病棟: 17床
- ICU・CCU: 8床
- 療養病棟 (医療型): 25床
- 合計: 295床



建築計画

整備方針 1 岡谷市のまちづくりに貢献する

- ・安心感のシンボルとして市民の誇りとなる外観を持つ
- ・利用者がアクセスしやすい入り口の駐車場の整備
- ・災害時の活用を考慮した駐車場や広場、災害備蓄の計画
- ・災害区域の拠点としての機能を高めるため、免震構造を採用し、地震対策の強化を図る

整備方針 2 「救急」「連携」「安全・安心」を3本柱とする

- ・緊急体制の強化につながる施設・整備
- ・地域医療連携、医療福祉情報、在宅支援の機能を果たした整備
- ・災害、医療安全、院内感染防止に備え、安心・安全に考慮した施設の整備

整備方針 3 特徴的な分野を持ち、市民や職員にとって誇りに思える病院

- ・健診センター、指導センター、呼吸器センターの施設整備
- ・がん医療の支援施設として、内視鏡を中心とした内・外科連携の施設整備
- ・在宅医療支援を強化するため、初期からの緩和ケアを行う緩和ケア病棟と外来化学療法室の整備
- ・産科、小児科医療については、市内の医療機関の連携して、産科産科と産科産科の整備

整備方針 4 高齢化社会に向けて健康延ばす医療の推進

- ・回復期リハビリテーション病棟を含めたリハビリ施設の整備
- ・手術医療の要としての、健診センターの充実を図り、健康教室や講演会などの健康事業の拡大を図る
- ・慢性疾患に長期療養を担うための医療型療養病棟の整備

整備方針 5 将来の社会情勢、医療需要の変化に効率的に対応

- ・患者の状況に応じて柔軟な運営ができる病棟計画
- ・将来の増棟、日常的な対応に対応できる構造・設備
- ・災害に対して堅牢な構造仕様と設備システム
- ・省エネルギーと自然エネルギーの活用など、ライフサイクルコストの削減を目標とした施設計画

整備方針 6 機能的で働きやすく、快適な建物

- ・モニタリングに配慮した診療・療養環境の整備
- ・回復期リハビリ病棟、患者動線とスタッフ動線に配慮した配置計画
- ・効率的な物流システム、情報システムの導入に配慮した構造設備
- ・職員のモチベーションが維持できる職場環境の整備

ニコニコボックス

井上保子・梅垣和彦・太田博久・小口雅弘・小口泰史・小野 仁・笠原新太郎・北澤洋之介・北村正春・小松正二・佐藤有司・白鳥修次・杉田隆夫・高木昭好・武井利夫・竹村一幸・塚田保則・中嶋孝一・中畑隆一・濱 透・濱 俊弘・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・平沢清文・藤森睦美・宮坂宥洪・宮坂宥澄・宮澤由己・矢島 進・矢島 實・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫 岡谷市新病院建設室 室長 山岡泰一郎様ようこそいらっしゃいました。本日は卓話どうぞよろしくお願いたします。

中村文明 創業99年を迎えました。100年に向けてがんばります。よろしくお願いたします。

武井利夫 創業81年目になりました。

白鳥修次 今月は創業月です。今後共よろしくお願いたします。

出席報告

会員数46名、出席者37名、出席率84.41%、前々回訂正97.61%

2011-2012年度R1テーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

